

【ナーシングケア】

【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します  
(※かんたき=看護小規模多機能型居宅介護 / 看取り対応可能)

# Nursing Care



(※利用者の範囲は制度により限定されています。裏面の施設一覧をご覧ください。)

自宅で、或いは【かんたき】で  
寄り添い、癒し、治し、そして看取る



仕事を続けながら親の介護・家族介護のできる環境設定

【かんたき】の営業時間：年中無休

通い：7:00～21:30

(送迎サービス：初発7:00 自宅着～最終21:30 自宅着)

泊まり：21:30～7:00

※尚、緊急時医療介護相談は各施設にて24時間体制で受付けています。

## 24時間・365日の介護サービス 仕事と介護の両立を目指して

表紙：かんたき城東 介護支援専門員 柳澤 広子

Nursing Healthcare ナーシングヘルスケア株式会社

## Information

総合在宅ケアサービスセンター〈かんたき(有床)+訪問看護ステーション+ケアプランセンター〉

かんたき(看護小規模多機能型居宅介護)とは

介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で療養できるように「通い」「泊まり」「訪問(看護・リハビリ・介護)」を必要に応じ、組み合わせて利用できる地域密着型の介護サービス。ご利用者は要介護度1～5、事業所の所在地の市町村区にお住まいの方が対象となります。



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター-上新庄**  
所在地 〒533-0014 大阪市東淀川区豊新2-9-8  
TEL 06-6815-8808  
Mail kamishinjiyou-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター-城東**  
所在地 〒536-0011 大阪市城東区放出西2-14-14  
TEL 06-6167-0535  
Mail jyoto-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター-大東**  
所在地 〒574-0055 大東市新田本町4番26号  
TEL 072-806-3400  
Mail daitou-kangotakinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター-堺下田**  
所在地 〒593-8329 堺市西区下田町19番15号  
TEL 072-269-0505  
Mail sakai-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム6室  
**総合在宅ケアサービスセンター-尼崎**  
所在地 〒661-0965 尼崎市次屋1丁目9番1号  
TEL 06-6498-0894  
Mail amagasaki-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室  
**総合在宅ケアサービスセンター-児島**  
所在地 〒711-0913 倉敷市児島味野1丁目4番23号  
TEL 086-470-5600  
Mail kojima-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室  
**総合在宅ケアサービスセンター-河内長野**  
所在地 〒586-0011 河内長野市汐の宮町12番2号  
TEL 0721-56-8600  
Mail kawachinagano-takinou@holonicsystem.com



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター-八尾北本町**  
所在地 〒581-0802 八尾市北本町4丁目7番14号  
TEL 072-923-9200  
Mail yaokita-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム7室  
**総合在宅ケアサービスセンター-武庫之荘**  
所在地 〒661-0045 尼崎市武庫豊町2丁目12番6号  
TEL 06-6431-5535  
Mail mukonosou-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター-住之江**  
所在地 〒559-0006 大阪市住之江区浜西2丁目5番4号  
TEL 06-6673-2411  
Mail suminoe-kantaki@nursing-hc.co.jp



看護多機能をそなえた 看取り対応可能 ケアルーム9室  
**総合在宅ケアサービスセンター-堺長尾**  
所在地 〒591-8045 堺市北区南長尾町2丁目2番19号  
TEL 072-257-1710  
Mail sakainagao-kantaki@nursing-hc.co.jp

〈【かんたき】は社会的課題となっている【介護離職】の防止を支援します〉

### 訪問看護ステーション

訪問看護ステーション摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号  
TEL:06-6317-8567

### ケアプランセンター

ケアプランセンター摂津

〒566-0021 摂津市南千里丘5番23ユニエス南千里丘103号  
TEL:06-4860-8277



発行 2018年7月 / ナーシングヘルスケア株式会社  
編集 営業広報部・企画デザイン室  
〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-18-9 新大阪日大ビル5階  
TEL:06-6302-1009 FAX:06-6302-4322  
Mail:info@nursing-hc.co.jp http://www.nursing-hc.co.jp

患者さん一人ひとりに  
寄り添い向き合うために。

地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪国際がんセンター



入退院支援センター  
西田 典子 看護師

入退院支援センター  
道平 恵子 看護師長



地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター  
大阪市中央区大手前3丁目1-69

消化管内科 / 肝胆膵内科 / 呼吸器内科 / 血液内科 / 腫瘍内科 / 消化器外科 / 呼吸器外科 / 乳腺・内分泌外科 (乳腺) / 脳神経外科 / 婦人科 / 泌尿器科 / 頭頸部外科 (耳鼻咽喉科) / アウトプ診療科 / 整形外科 (骨軟部腫瘍科) / 放射線腫瘍科 / 心療・緩和科 (精神腫瘍科) / 形成外科 / 腫瘍皮膚科 / 腫瘍循環器科 / 脳循環内科 (神経内科) / 心臓血管外科 (血管外科) / 消化器検診科 / 成人病ドック科 (人間ドック) / 麻酔科 / 病理・細胞診断科 / 放射線診断・IVR科 / 内分泌・代謝内科 / 臨床検査科 / 眼科 / 歯科 / 栄養腫瘍科 / 感染症内科 / 外来化学療法科 / リハビリテーション科



入退院調整を担当して3年目の道平看護師長 (右側) と1年目の西田看護師 (左側)

名、医療ソーシャルワーカー6名、事務6名の計32名の構成で、患者総合相談室、がん相談支援センター、地域医療連携室、入退院支援センター、ベッドコントロールセンターの5つのセクションに分かれています。高度な専門医療を提供するために、地域の医療機関と連携し、患者・ご家族様の様々な悩みや問題に対する相談支援を行っています。その中で入退院支援センターは、看護師10名で対応しています。患者さんの高齢化に伴い、がん以外に慢性疾患など多様な病気や社会的問題を抱えている方も多く、病棟や外来、地域との連携も必要です。そのため、入院前から退院後の生活を見据え、多職種でマネジメントすることで早期退院支援に役立てるよう取り組んでいます。

まずは自宅に戻れることを念頭に置きながら在宅退院調整を行います。特に遠方の方については、ご帰宅の交通手段、現地の医療機関、担当のケアマネジャーとの連携を取りながら進めています。

**ひとり一人にあった高度ながん治療を継続するために**

がんは一般的に手術のほか、化学療法や放射線治療など通院しながらがん治療を続けられる方も多く、入院前の生活ができるだけ継続できるように支援を進めています。患者さんによっては、抗がん剤の副作用が重い場合や状態の悪化で治療の継続が困難になる場合があります。

在宅医、訪問看護師と連携をとり、情報交換や支援内容の共有をしたり、外来看護師と連携をしています。患者さんの外来通院時に病態を確認しながら、その時々を抱えている不安や悩みなど患者総合相談室のMSW(医療ソーシャルワーカー)と協力して相談に応じています。

**「かんたき」に患者さんのメンタルケアにも期待**

がん患者さんが自宅で亡くなる方がここ数年少しづつですが、増加傾向にあります。

がん患者さんが自宅に戻られる際、介護するご家族の負担や医療処置、緊急時の対応など困難な問題、不安な部分が多くありました。当センターの患者さんも高齢の方が多く、入院すると入院前と同じ状態に戻らないこともあり、介護の手が必要になることもありま

## 「おうちで療養したい」 患者さんのチカラに なります

総合在宅ケア  
サービスセンター城東  
〈かんたき城東〉

所長 看護師  
川合 智永子



がんの患者さんがおうちに戻られるには、ちょっとしたタイミングを逃すと帰れない。思い切って帰ってみたら、思いのほか元気になられて食欲がなかった患者さんがお食事が取れたりすることがあります。おうちには家族の声、生活リズムなど患者さんがリラックスできるパワーがあります。「かんたき」はおうちではありませんが、それに近い環境の中で、もうひとつのおうちとして行き来することができます。例えば、大阪国際がんセンターに通院しながら外来化学療法の治療を続けなければならない場合、ほかの病院に転院してしまったり通院ができなくなります。通院日の体調管理がむずかしい日だけ「かんたき」に泊まっていたとき、看護ケアができる環境のもと体調を整えて、それ以外のご自宅でお過ごしになれるということも可能です

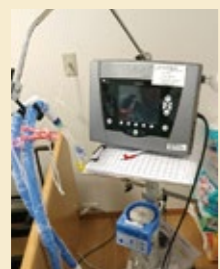
### 「かんたき」の主な医療的ケア



吸引



在宅酸素



人工呼吸器



点滴



大阪国際がんセンターの相談支援センターは、患者総合相談室、がん相談支援センター、地域医療連携室、入退院支援センター、ベッドコントロールセンターの5つのセクションに分かれおり、がんに関する治療や療養にともなう不安や疑問などの相談窓口を担っています。

とれることは心強い存在だと思えます。

**「在宅」の現場を実際に見て、患者さんに反映**

私たち入退院支援看護師は、訪問看護など地域の在宅サービスの院外研修を行い、患者さんの在宅療養の現場を体験するようにしています。

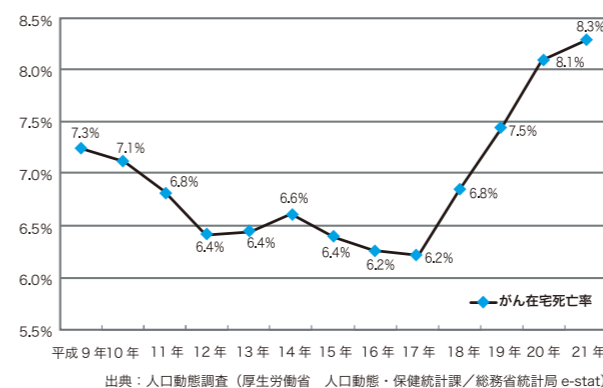
在宅療養の視点に立って看護を体験することは入院患者さんが自宅に戻ってからの生活がイメージできるように、「このような条件を整えたら、ご自宅に帰れるだろう」と退院調整に役立てること

ができました。これまで退院困難であった患者さんが在宅への退院を実現させることにも活かされます。

在宅療養の現場での経験から視野が広がり、私見が増えることで患者さんにも還元できたと思っています。

当センターでは就労しながら治療継続をされている方、緩和ケアが必要な方、そして積極的な治療をしないで療養される方など様々な患者さんの対応が必要になります。患者さん一人ひとりに寄り添った退院支援ができるようにスキルアップを図っていきたいと思っています。

がん在宅死亡率



す。特に独居の場合は、在宅支援をどこから得るかなど、患者さんが帰りたいと思っても、希望に届くことができなかったこともあり、現在、徐々に在宅サービス提供体制が整いつつあります。

病院主治医と在宅医の連携はもちろんのこと、24時間必要に応じて駆けつけられる体制が安心です。吸引、経管栄養、がんにおける痛みの管理（医療用麻薬）など末期がんの患者さんにもきちんとした医療的ケアの対応が在宅でも可能であることを確認して調整しています。

自宅に帰りたい、最期は住み慣れた家で暮らしたいという思いに寄り添って支援していますが、それがすぐに難しい場合は、「かんたき」（看護小規模多機能型居宅介護）が、自宅に戻るための選択肢の一つとして、徐々に理解されてきています。

長期化する介護の中で、介護をしているご家族が休息をとって疲労の軽減ができた、患者さんが施設に泊まれるサービス（ショートステイ）が利用できたり、がん患者さんやご家族が抱える不安や気持ちの揺れに対して、メンタルケアの面でも看護師同士の連携が

総合在宅ケアサービスセンター城東  
所長 看護師

川合 智永子



column

こころのかたち こころの色 思いを紡ぐ

# 聴診器の向こうがわ

2017年度の子供のなり  
たい職業ランキングでは、女  
子児童で初めて看護師が1位  
になりました。男子児童では  
サッカー選手が1位、時代で  
すか、6位にはユーチューバー  
がランクインされています。  
それをみて、「なりたい職業  
看護婦さん」と小学校の卒業  
文集に書いたことを思い出し  
ました。

高校を卒業して、病院に就  
職し、働きながら看護専門学  
校に通うという選択をしまし  
た。

学校の日は、朝から夕方ま  
で学校に行き、17時に病院に  
戻り20時30分まで勤務。週に  
一回はそのまま当直に入り、  
翌朝、学校に行く。学校の無  
い日は、8時30分から20時30  
分まで勤務。休みは日曜日。  
この学生生活を5年間送り、  
看護師免許を取得することが  
出来ました。今では、考えら  
れないことだと思っています。

そのころの病院での主な仕  
事は、病棟全員の検温をする  
事です。学生で一番若かった  
私は、患者さんに、孫のよう  
に娘のように可愛がってもら  
い辛いと思うことはありません  
でした。

そんな経験があった為か、  
私はいつも「その人の身近な  
存在になるように」を心掛け  
ています。

家族から離れて、無機質な  
病室で治療されている患者さ  
んに、本当の家族にはなり得  
ないが、親戚のおばちゃんや  
近所のお姉ちゃんのように親  
しみを込めて、娘や孫のよう  
に愛情を込めて接することで  
より近い存在になり、患者さ  
んが緊張しない話しやすい雰  
囲気がつくれるようにするこ  
とが、その人の思いをより引  
き出し、心に寄り添う看護が  
提供できると思っています。

病院での20数年の経験後、  
「かんだき」勤務となりました。  
「かんだき」は、病院と自宅  
との間のようなお家（施設）  
で、まさに「もっと身近な存  
在になりたい」という私の看  
護感が活かせる場所だと思い  
ました。実際、働いてみてす  
ばらしい施設だと、実感して  
います。

認知症が進行し、食事がで  
きなくなり、胃ろう造設を余  
儀なくされた方が、胃ろう造  
設目的で再入院するまで、「か  
んだき」をご利用になられた  
時、入所の翌日から突然自分  
でお碗とスプーンを持ち、食  
べ始められました。ご家族、  
かんだきスタッフ全員、啞然  
とし、みんなで大喜びです。  
今でも、1日3食完食されて  
います。

病院で寝たきりでオムツを  
使用していたご利用者は、「か  
んだき」に連れて来られてから、し  
ばらくして、日中リビングの  
椅子に座れるようになり、歩  
行器を使用して自分でトイレ  
に行けるようになりました。

脳梗塞で、発語なしのご利  
用者は、じっくり話しかける  
と「だんだん「おはよう」「はい」  
などの挨拶ができるようにな  
りました。

このようなミラクルが「か  
んだき」で、起っています。  
どうぞ一度まずは見学からで  
も、職員一同「笑顔」で、お待  
ちしております。

## ●知っておきたい介護のQ&A

### Q. 最近食事中にむせることが多くなりました。肺炎につながると聞いたのですが、何に注意したらいいのでしょうか??



お答えします

医療法人医誠会 法人本部 嚥下障害対策室  
摂食・嚥下障害看護認定看護師

林 直子 看護師



**A.** 食べ物が誤って気道に入ることを「誤嚥（ごえん）」といいますが、誤嚥したからといって必ず肺炎になるわけではありません。むせなどの咳で異物を外にだす防御ができればいいのです。健常者でも誤嚥は時々ありますが、肺炎にならないのは免疫力と食べ物を肺の外に出す力があるからです。高齢者とくに要介護者の場合、のみ込み力が弱って誤嚥の発症が高くなります。口の中には、病原菌が潜んでいて、その中には肺炎の原因となる「肺炎球菌」や「黄色ブドウ球菌」などがあります。この菌が肺に入ると肺炎を起こします。食べ物だけでなく、唾液にも菌が含まんでおり気道に流れても発症する場合があります。むせの頻度が多くなるなどの症状がある場合はお近くの医療機関に一度相談をしてみてください。

### 肺炎球菌ワクチンの接種

高齢者の場合、のみ込み力、免疫力の低下で肺炎球菌による感染症にかかりやすく、発症後、急速に重症になることがあります。肺炎で亡くなる方の97%が65歳以上のことから日常的な予防に加え、ワクチンの接種が有効です。接種により肺炎の予防、肺炎にかかって軽い症状ですむ効果があります。

※総務省統計局平成28年人口動態調査から

### 口の中の細菌を減らす

歯磨き（口腔ケア）が大切です。夜寝る前の歯磨き、歯間の汚れにも気をつけましょう。入れ歯も清潔に保ちましょう。



### のどを鍛える「パ・タ・カ・ラ」体操

「パパパ…」「タタタ…」と短く発声を繰り返し、のみ込み力を維持させることが大切です。のどを鍛えるには会話や歌うことも有効です。

### 正しい姿勢で食事をしましょう

- 背もたれに深く腰をかけて体を安定させる。
- 足底を地面につける。
- テーブルの位置は肘が90度に曲がるくらいに。顔が下向き、顎引き気味でのみ込めるように食事をセッティング。



介護に関するご相談・お問い合わせは

情報誌「ナーシングケア」裏面のお近くの事業所にお問い合わせください。

ナーシングヘルスケア